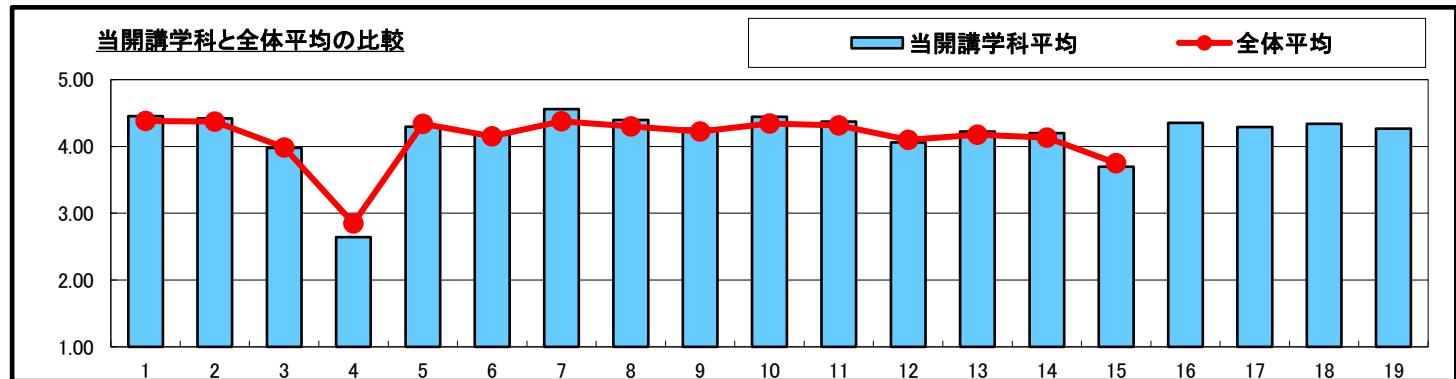


# 2025年度前期 開講学科別集計結果表

常葉大学

開講学科	心理教育学科					履修者数	1,421				
						回答者数	1,106				
学年 マーク	回答者数／構成比 (%)										
	1年	2年	3年	4年		無効回答					
	360	541	161	44		0					
	32.5	48.9	14.6	4.0		0.0					
No.	設問文			平均	回答者数／構成比 (%)						
					5	4	3	2			
					とても そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない			
							全くそう 思わない				
▼全学部共通の質問項目											
1	学修環境（プロジェクタ・音響・空調・照明・静謐性）は良好であった			4.45	583 52.9	462 41.9	37 3.4	18 1.6	3 0.3	1,103	3
2	クラスサイズ（受講者数）やグループサイズは適切であった			4.42	597 54.1	410 37.1	63 5.7	32 2.9	2 0.2	1,104	2
3	周りの学生の熱意が感じられた（熱心に授業に参加していた）			3.98	333 30.1	498 45.1	204 18.5	60 5.4	10 0.9	1,105	1
▼学部レベルの質問項目											
4	この授業に対する授業時間外学修にどの程度の時間を費やしましたか（1回の授業の前後）			2.64	2時間以上 2時間未満 6.5	1時間以上 1時間未満 17.0	30分以上 1時間未満 29.5	30分未満 28.5	全くして いない 18.6	1,103	3
5	シラバスに則した内容の授業が行われていた			4.29	486 44.1	476 43.2	122 11.1	18 1.6	1 0.1	1,103	3
6	この科目の難易度は適切であった			4.19	448 40.5	476 43.0	136 12.3	38 3.4	8 0.7	1,106	0
7	この科目は学部・学科の学びを深める上で有益であった			4.56	696 63.1	339 30.7	58 5.3	7 0.6	3 0.3	1,103	3
8	この科目は自らのキャリア形成や将来を考える上で役立った			4.40	584 52.9	396 35.9	106 9.6	13 1.2	5 0.5	1,104	2
9	【対面授業の場合】 この科目は対面で受講することが適切であった 【ポータルサイト等を活用した授業（オンライン授業）の場合】 この科目はオンラインで受講することが適切であった			4.27	582 53.0	331 30.1	111 10.1	46 4.2	29 2.6	1,099	7
▼教員個人レベルの質問項目											
10	教員の話し方は明瞭で聴き取りやすかった			4.44	629 56.9	380 34.4	61 5.5	28 2.5	7 0.6	1,105	1
11	板書、スライド、配布資料などは適切であった			4.37	577 52.2	404 36.5	87 7.9	35 3.2	3 0.3	1,106	0
12	学生に質問や意見を求める、発表の機会を設けるなど授業への参加を促していた			4.06	451 40.8	407 36.8	146 13.2	66 6.0	36 3.3	1,106	0
13	学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた			4.22	494 44.7	441 39.9	110 10.0	43 3.9	17 1.5	1,105	1
14	必要に応じて学生の受講態度への注意を適切に行っていた			4.20	499 45.2	392 35.5	162 14.7	37 3.4	14 1.3	1,104	2
15	この授業のシラバスを読みましたか			3.70	十分に 読んだ 250	よく読んだ 483	どちらとも いえない 212	ほとんど 読みなかつた 106	全く読んで いない 54	1,105	1
					22.6	43.7	19.2	9.6	4.9		
▼学科設問											
16	この授業の学修を通して、関連の資格にかかる資質・能力を高めることができた			4.35	519 47.0	482 43.7	80 7.2	18 1.6	5 0.5	1,104	2
17	この授業の学修を通して、人間理解や対人援助に必要な実践や取組への理解を深めることができた			4.29	526 47.7	425 38.5	112 10.2	29 2.6	11 1.0	1,103	3
18	この授業の学修を通して、人間理解や対人援助に関わる理論や研究への関心を高めることができた			4.34	531 48.1	451 40.9	92 8.3	22 2.0	7 0.6	1,103	3
19	この授業の学修を通して、人間理解や対人援助に関わる技術やノウハウを身に付けることができた			4.26	487 44.2	475 43.1	97 8.8	31 2.8	12 1.1	1,102	4



## 2025年度前期授業アンケート 学科別集計結果表に対する講評

学科／課程	心理教育学科
講評者	心理教育学科長 長屋 佐和子

設問	講評
設問 1～3 「全学部共通の質問項目」について	学修環境（プロジェクタ・音響・空調・照明・静謐性）やクラスサイズ（受講者数）については、全学に対するアンケート結果と同様に4点を超える良好な結果となった。草薙キャンパスの施設に対しては、総じて高評価であることが伺える。また、授業に参加している学生の熱意については、3.98点と高い評価となっている。これらのことから、学習環境については、概ね良好だと考えられる。
設問 4～9 「学部レベルの質問項目」について	学部レベルの質問項目では、心理学の学びを深める上で有益であったとする高い評価が得られた。心理学の授業の特徴として、実験や実習などが多く、得られた結果や体験についてグループでディスカッションをしたり、教師からのコメントが伝えられたりしている。このような対面での授業構成によって、高い評価が得られたと思われる。その反面、授業外学修の時間については、全学と比較して少ない傾向があるため、授業の予習・復習を促す取り組みが求められる。
設問 10～15 「教員個人レベルの質問項目」について	教員個人に対する質問項目では、板書やスライドなども適切で見やすいとの評価が得られている。また、学生の反応や理解度を確認しながら授業を行っていることが高く評価された。しかし、シラバスについては「よく読んだ」(43.7%)と評価した学生が多く、シラバスを「十分に読んだ」学生は22.6%に留まった。今後はガイダンス等でシラバスを確認した上で履修するよう指導する必要がある。
設問 16～ 「学科設問」について（該当学科のみ）	本学科独自の設問は、学修を通して、人間理解や対人援助につながる資質・能力の獲得、実践・取り組みに対する理解、理論や研究への関心、対人援助の技能やノウハウが身についたか、といった内容で構成されている。これらすべての項目で4.2点以上の高い評価となり、本学科において、地域貢献や対人援助に活かすための心理学教育を目標に教育を実践した結果が反映されたと考えられる。